

平成 2 2 年度ごみ減量導入可能性調査  
報 告 書

平成 2 3 年 3 月

三 重 県



# 目 次

## 第1章 ごみ減量導入可能性調査の概要

第1節 調査の背景と目的	1
第2節 調査内容	1
（1）家庭ごみのごみ組成分析調査	1
（2）ごみ減量等に関する先進事例の整理と今後のごみ減量の取組の方向性	2
（3）これまでのごみ減量の取組と減量効果の検証及び今後の目標設定	2
（4）県のごみ減量化に向けての具体的な取組の提案	2

## 第2章 家庭ごみのごみ組成分析調査の結果

第1節 調査の目的と方法	3
（1）調査の目的	3
（2）調査の方法	3
1）調査対象市	3
2）調査対象ごみ	3
3）調査地域の選定	3
4）サンプリング量	4
5）サンプリング方法	4
6）調査日程・サンプリング量等	4
7）調査全体の流れと分類作業	5
第2節 調査の結果	10
（1）調査結果の全体像	10
（2）調査対象市のごみ質の詳細	19
1）津市	19
2）尾鷲市	20
3）志摩市	21
4）四日市市	22
5）亀山市	23
（3）地域別ごみ質の特徴	24
1）津市	24
2）尾鷲市	24
3）志摩市	24
4）四日市市	24
5）亀山市	25

( 4 ) 過去のごみ質調査結果との比較と全体のまとめ	27
1 ) 可燃ごみの組成	27
2 ) 可燃ごみに含まれる紙類の組成	27
3 ) 可燃ごみに含まれるプラスチック類の組成	28
4 ) 可燃ごみに含まれる厨芥類等の組成	29
5 ) ごみの組成と地域特性	29
第 3 章 ごみ減量等に関する先進事例の整理と今後のごみ減量の取組の方向性	
第 1 節 ごみ減量等に関する先進事例調査の整理	31
( 1 ) 先進事例調査結果の概要	31
1 ) 基本方向 1 拡大生産責任者責任の徹底	32
2 ) 基本方向 2 事業系ごみの総合的な減量化の推進	32
3 ) 基本方向 3 リユース(再使用)の推進	39
4 ) 基本方向 4 容器包装ごみの減量・再資源化	42
5 ) 基本方向 5 生ごみの再資源化	43
6 ) 基本方向 6 産業・福祉・地域づくりと一体となったごみ減量化の推進	46
7 ) 基本方向 7 公平で効率的なごみ処理システムの構築	50
8 ) 基本方向 8 ごみ行政への県民参画と協働の推進	54
9 ) 基本方向 9 ごみゼロ社会を担うひとづくり・ネットワークづくり	57
( 2 ) 先進事例の詳細	61
1 ) 基本方向 1 拡大生産責任者責任の徹底	61
2 ) 基本方向 2 事業系ごみの総合的な減量化の推進	62
3 ) 基本方向 3 リユース(再使用)の推進	95
4 ) 基本方向 4 容器包装ごみの減量・再資源化	106
5 ) 基本方向 5 生ごみの再資源化	110
6 ) 基本方向 6 産業・福祉・地域づくりと一体となったごみ減量化の推進	140
7 ) 基本方向 7 公正で効率的なごみ処理システムの構築	153
8 ) 基本方向 8 ごみ行政への県民参画と協働の推進	171
9 ) 基本方向 9 ごみゼロ社会を担うひとづくり・ネットワークづくり	184
第 2 節 先進事例に見るごみ減量等の新しい動き	190
( 1 ) 2R の推進に関連する取組	192
( 2 ) 低酸素社会の構築に関連する取組	199
( 3 ) 環境負荷の抑制等目標の設定に関連する取組	201
第 4 章 これまでのごみ減量の取組と削減効果の検証及び今後の目標設定	
第 1 節 ごみ排出量の削減	205
( 1 ) 家庭系ごみの排出量	205

1 ) 基本方向 3	リユース（再使用）の推進（その 1）	205
2 ) 基本方向 3	リユース（再使用）の推進（その 2）	206
3 ) 基本方向 5	生ごみの再資源化	208
4 ) 基本方向 6	産業・福祉・地域づくりと一体となったごみ資源化の推進、	
基本方向 7	公正で効率的なごみ処理システムの構築	209
5 ) 基本方向 7	公正で効率的なごみ処理システムの構築、	
基本方向 4	容器包装ごみの減量・再資源化	212
6 ) 基本方向 8	ごみ行政への県民参加と協働の推進	215
7 ) 基本方向 9	ごみゼロ社会を担うひとづくり・ネットワークづくり	216
8 ) 家庭系ごみ排出量削減の目標設定のまとめ		219
( 2 ) 事業系ごみの排出量		220
1 ) 基本方向 2	事業系ごみの総合的な減量化の推進（その 1）	220
2 ) 基本方向 2	事業系ごみの総合的な減量化の推進（その 2）	228
3 ) 基本方向 2	事業系ごみの総合的な減量化の推進（その 3）	229
4 ) 基本方向 2	事業系ごみの総合的な減量化の推進（その 4）	231
5 ) 基本方向 3	リユース（再使用）の推進	232
6 ) 事業系ごみ排出量削減の目標設定のまとめ		234
第 2 節	再利用率の向上	235
( 1 ) 家庭系ごみの資源としての再利用率		235
1 ) 基本方向 4	容器包装ごみの減量・再資源化	235
2 ) 基本方向 5	生ごみの再資源化	237
3 ) 基本方向 6	産業・福祉・地域づくりと一体となったごみ減量化の推進	238
4 ) 基本方向 7	公正で効率的なごみ処理システムの構築（その 1）	239
5 ) 基本方向 7	公正で効率的なごみ処理システムの構築（その 2）	241
( 2 ) 事業系ごみの資源としての再利用率		243
1 ) 基本方向 2	事業系ごみの総合的な減量化の推進、	
基本方向 5	生ごみの再資源化、	
基本方向 6	産業・福祉・地域づくりと一体となったごみ減量化の推進	243
( 3 ) 家庭系及び事業系ごみの再利用率向上の目標設定のまとめ		247
第 3 節	最終処分量の削減	248
第 4 節	ごみゼロプラン中期・最終目標の見直し（案）のまとめ	249
第 5 節	モデル事業の効果検証	253

## 第 5 章 県のごみ減量化に向けての具体的な取組の提案

第 1 節	先進事例に見るレジ袋削減運動に続くセカンドステージとしての取組	263
( 1 )	県内のレジ袋削減運動の現状	263
( 2 )	セカンドステージとしての取組の候補	264

第2節 経済的インセンティブを活用したごみ減量の取組	276
（1）家庭系ごみの有料化の概要と動向	276
（2）有料化の取組の方向性	282
第3節 生ごみリサイクルの推進	285
第4節 ごみゼロ社会実現をめざした事業の推進	288